

第 3 回水源検討部会(9 /29)議事等にかかる 御質問・回答、御意見 まとめ

令和5年11月24日
第 4 回 静岡市清水地区水源検討部会

第3回 静岡市清水地区水源検討部会 御質問・回答

No.	議事	御質問	回答
1	議事：新たな水源検討総合評価（案）	資料3（35ページ）の「6-3-2 他系統からの水融通 南部ルート」の「増強」で、新設井戸は1400m ³ /日、となっていますが、なぜこの数値になっているのでしょうか。これ以上取水することは不可能なのでしょうか。（長岡委員）	<p>回答課 水道基盤整備課</p> <p>南部ルートの終点である草薙配水池の必要配水量は6,400m³/日であり、南部ルートの既存水源である高松取水場の取水可能量5,000m³/日との差である1,400m³/日を新規水源としています。</p>

議事：前提条件等の整理（１）市域全体の水融通の現況

No.	御意見
1	特になし。

議事：前提条件等の整理（２）清水地区（南部）の目標水量

No.	御意見
1	<p>9月29日 第3回水源検討部会資料 資料2 7ページ （２）清水地区（南部）の目標水量 ケース(1)：承元寺取水口が停止した際の目標資料（運転調整無しの場合） ケース(2)：承元寺取水口が停止した際の目標資料（運転調整有りの場合） と表記にされていますが、この表記では資料初見の関係者には事務局の意図が伝われないと考えます。 例えば、 ケース(1)：承元寺取水口が停止した際の目標資料（運転調整行わず通常の水量確保を目標とする場合） ケース(2)：承元寺取水口が停止した際の目標資料（運転調整を行い、市民に夏場の渇水時程度の節水協力をお願いする場合） のような需要者である市民が理解しやすい表現を工夫する必要があると考えます。</p>

議事：新たな水源検討 総合評価（案）

No.	御意見
1	資料3（56ページ）において、「6-1新規河川の暫定取水」の評価を説明しておくべきではないか。

報告：承元寺取水口の緊急対策について

No.	御意見
1	特になし

その他

No.	御意見
1	資料4（58ページ）総合評価において、スタートまで2年間の空白がある。数量は算定できないが、取水口の緊急対策や何らかのソフト対策でゼロとはならないことを表現できないかご検討ください。（新規河川の暫定取水でもよいので）